

2025年3月期(第41期) 第1四半期 決算補足資料

TechMatrix

2024年7月31日

テクマトリックス株式会社(コード:3762)



1. 第1四半期 業績報告



- 売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益のいずれも1Qとしては**過去最高**を記録。

(百万円)

	FY2023 1Q	FY2024 1Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	11,473	13,763	+2,289	+20.0%
営業利益	898	1,113	+215	+24.0%
営業利益率	7.8%	8.1%		+0.3P
税引前利益	910	1,130	+220	+24.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	560	726	+165	+29.6%



2025年3月期 1Q 連結業績(セグメント別)

(百万円)

	FY2023 1Q			FY2024 1Q			前年同期比	
	実績	構成比	利益率	実績	構成比	利益率	増減額	増減率
売上収益	11,473	100.0%	/	13,763	100.0%	/	+2,289	+20.0%
情報基盤	7,478	65.2%		9,606	69.8%		+2,128	+28.5%
アプリ・サ	1,883	16.4%		2,102	15.3%		+219	+11.6%
医療システム	2,112	18.4%		2,054	14.9%		△57	△2.7%
営業利益	898	100.0%	7.8%	1,113	100.0%	8.1%	+215	+24.0%
情報基盤	646	72.0%	8.7%	940	84.5%	9.8%	+293	+45.4%
アプリ・サ	34	3.8%	1.8%	63	5.7%	3.0%	+29	+85.8%
医療システム	216	24.2%	10.3%	109	9.8%	5.3%	△107	△49.7%

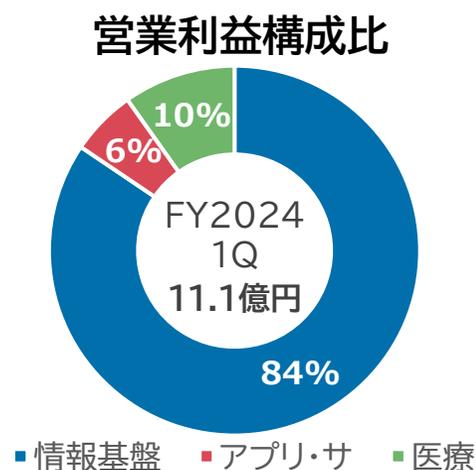
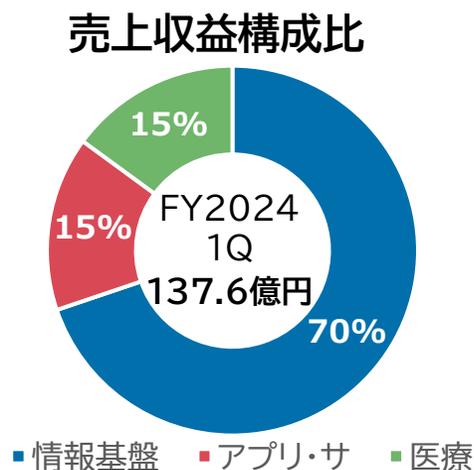
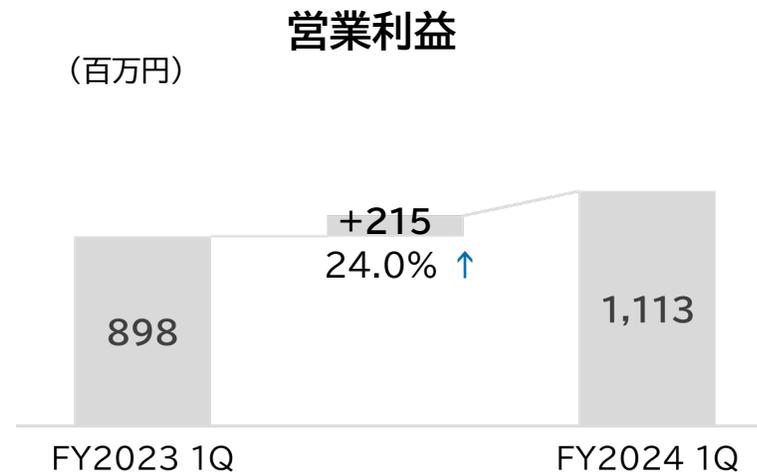
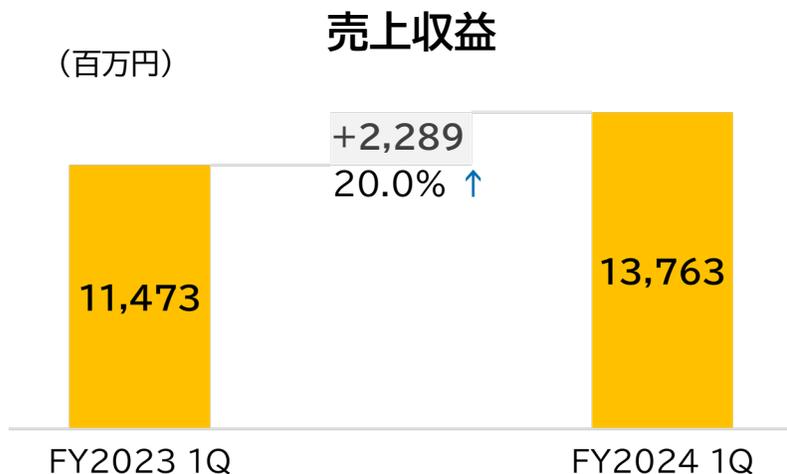


2025年3月期 1Q 連結業績

情報基盤事業:クラウド型セキュリティ対策製品の需要が全体の業績を牽引。

アプリ・サ事業:ストックビジネス化の進展が業績に貢献し、CRM, SE, BS, EdTech分野において売上が前年同期比で2桁成長。

医療システム事業:事業拡大に向けた人件費や積極的な開発投資が拡大。



※事業略称
 SE:ソフトウェア品質保証
 BS:ビジネスソリューション
 CRM:コンタクトセンター・コールセンター
 EdTech:教育



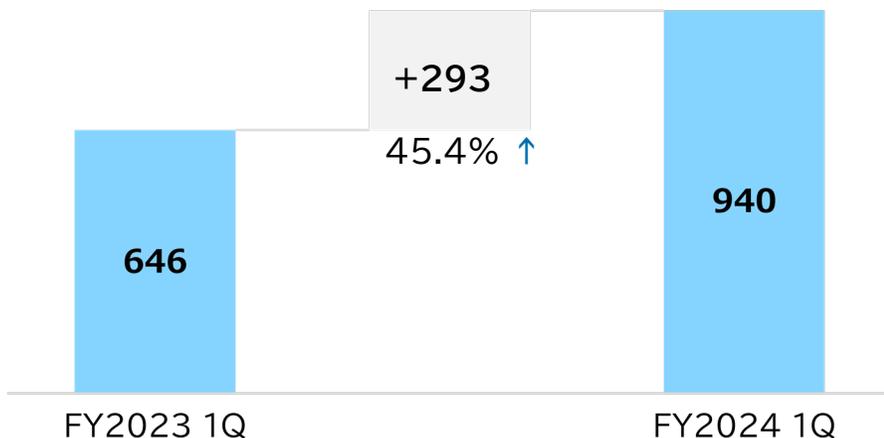
売上収益

(百万円)



営業利益

(百万円)



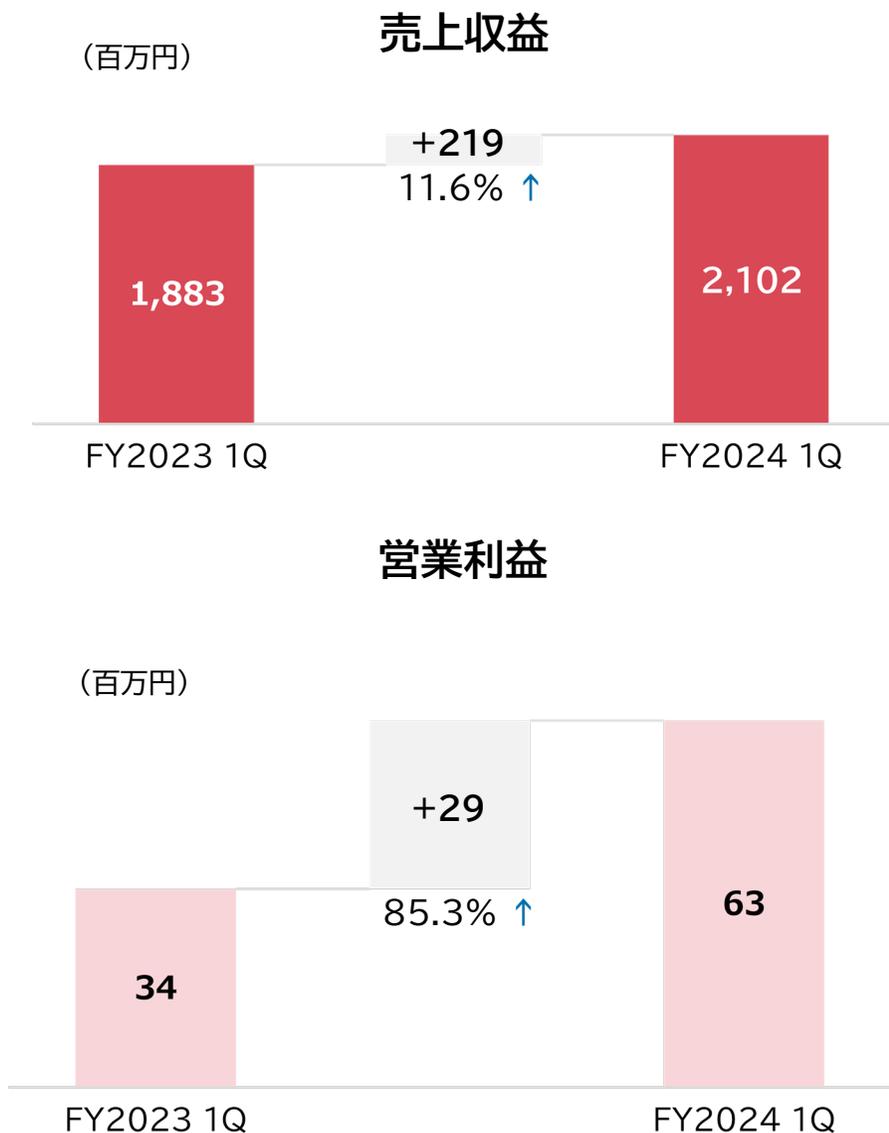
売上収益・営業利益は1Qとしては**過去最高**を記録。

売上収益

- (+) クラウド型セキュリティ(サブスクリプション) 対策製品は引き続き好調
- (+) AIを活用した次世代アンチウイルス製品の需要が好調
- (+) 次世代型メールセキュリティソリューションの需要が好調
- (+) 複数年契約のサブスクリプションの積み上がり

営業利益

- (+) 販管費は前年同期比で増加したが、増加率は前年同期比で減少
- (+) クロス・ヘッドの営業利益が前年同期比で改善
- (+) 採算性を意識した営業活動の徹底



売上収益・営業利益は前年比で増加。

売上収益

- (+) 企業向けシステムや組込ソフトウェアの品質を担保するテストツールの需要が好調(SE)
- (+) サブスクリプション化の進展によりストックが積み上がり、売上伸長。(CRM、SE)
- (+) 「ツムギノ」の導入校数が拡大し売上伸長。(教育)

営業利益

- (-) ビジネスの拡大による人件費・販管費の増加
- (-) 前期までの戦略的な投資により償却費用が増加(教育)

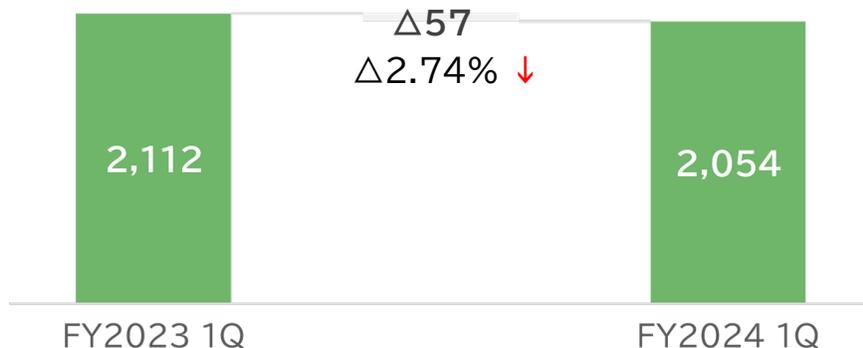
※事業略称

SE:ソフトウェア品質保証、BS:ビジネスソリューション
CRM:コンタクトセンター・コールセンター、EdTech:教育



売上収益

(百万円)



営業利益

(百万円)



売上収益・営業利益は前年比で減少。

売上収益

- (+) 事業統合したPSPの医用画像管理システム (PACS)は堅調。
- (+) 医療情報クラウドサービス・PHRアプリ「NOBORI」が順調。
- (-) 1Qのオンプレミスの案件が期ズレ
- (-) クラウドシフトが徐々に進行

営業利益

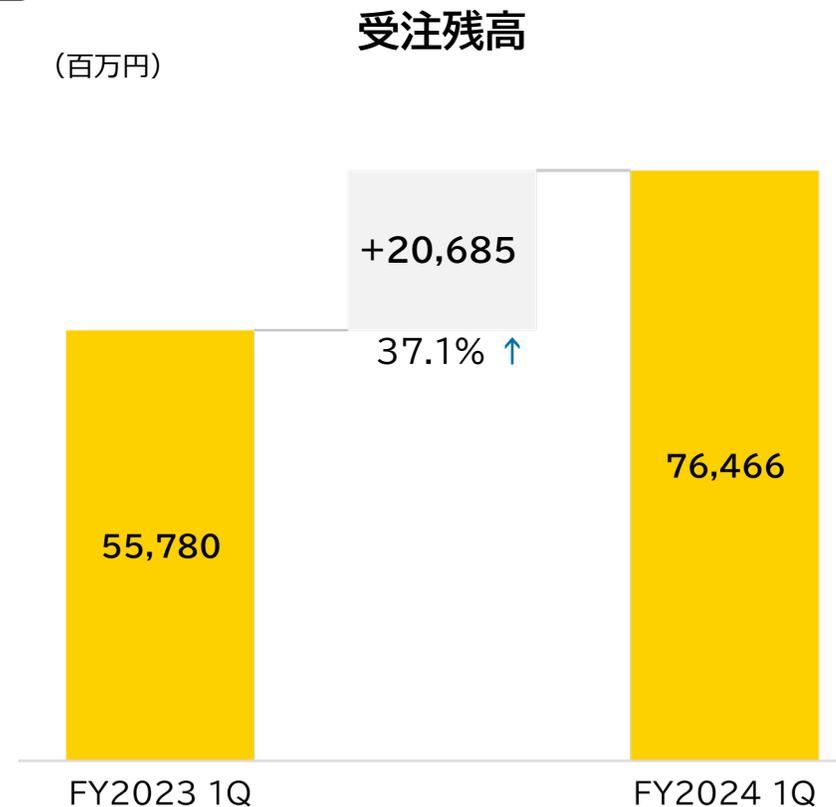
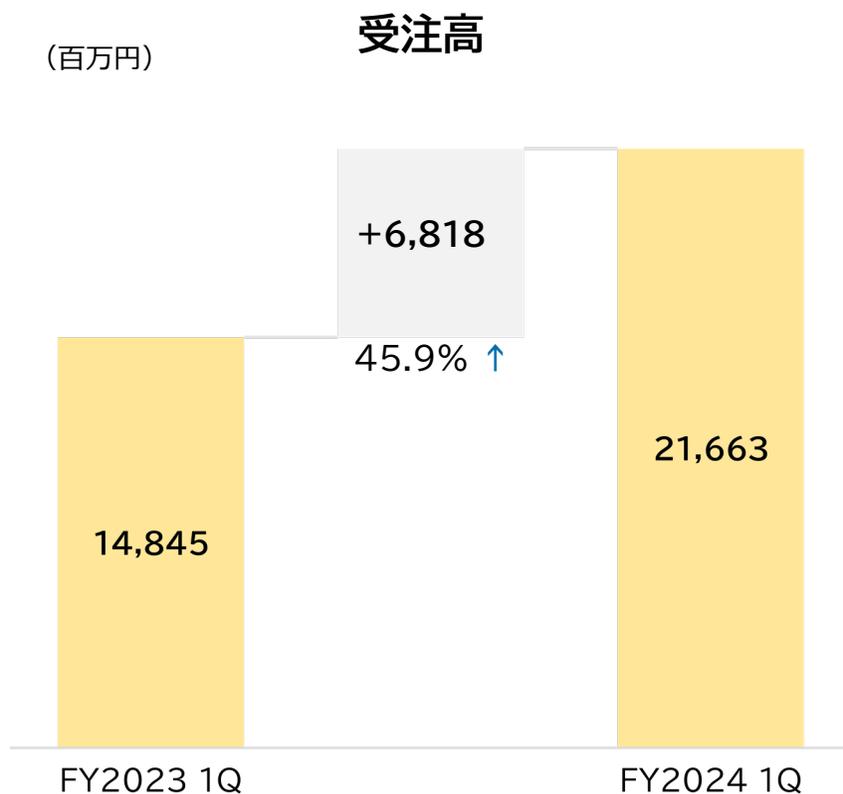
- (+) 前期に発生した処遇制度統一に係る費用等の反動(98百万円)
- (-) 増員による販管費増加
- (-) 積極的な開発投資による販管費増加



2025年3月期 1Q 受注高と受注残高(連結)

- 連結受注高は、前年比で順調に増加。
- 連結受注残高は、情報基盤事業を中心に前年比で増加。
- 情報基盤事業、アプリ・サ事業、医療システム事業のいずれも市場環境は良く、着実に積み上げ。

全社合計



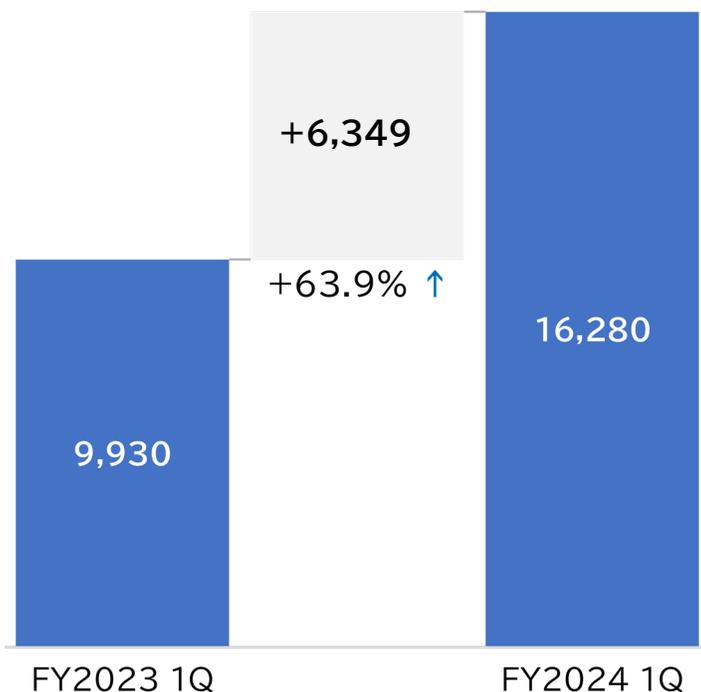


2025年3月期 1Q セグメント別 受注高(連結)

情報基盤事業: クラウド型セキュリティ対策製品の大型案件(新規・更新)により伸長。
アプリケーション・サービス事業: ソフトウェア品質保証分野を中心にいずれのセグメントも好調。
医療システム事業: 医用画像管理システム(PACS)の受注は堅調に推移し計画を超過。

情報基盤事業

(百万円)



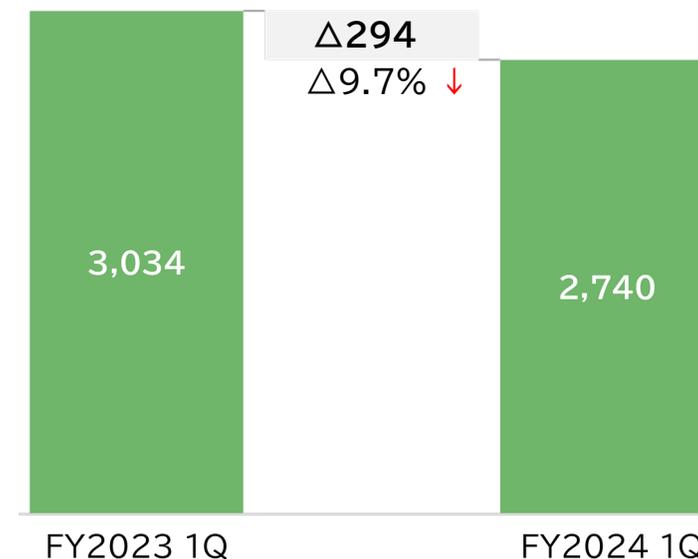
アプリケーション・サービス事業

(百万円)



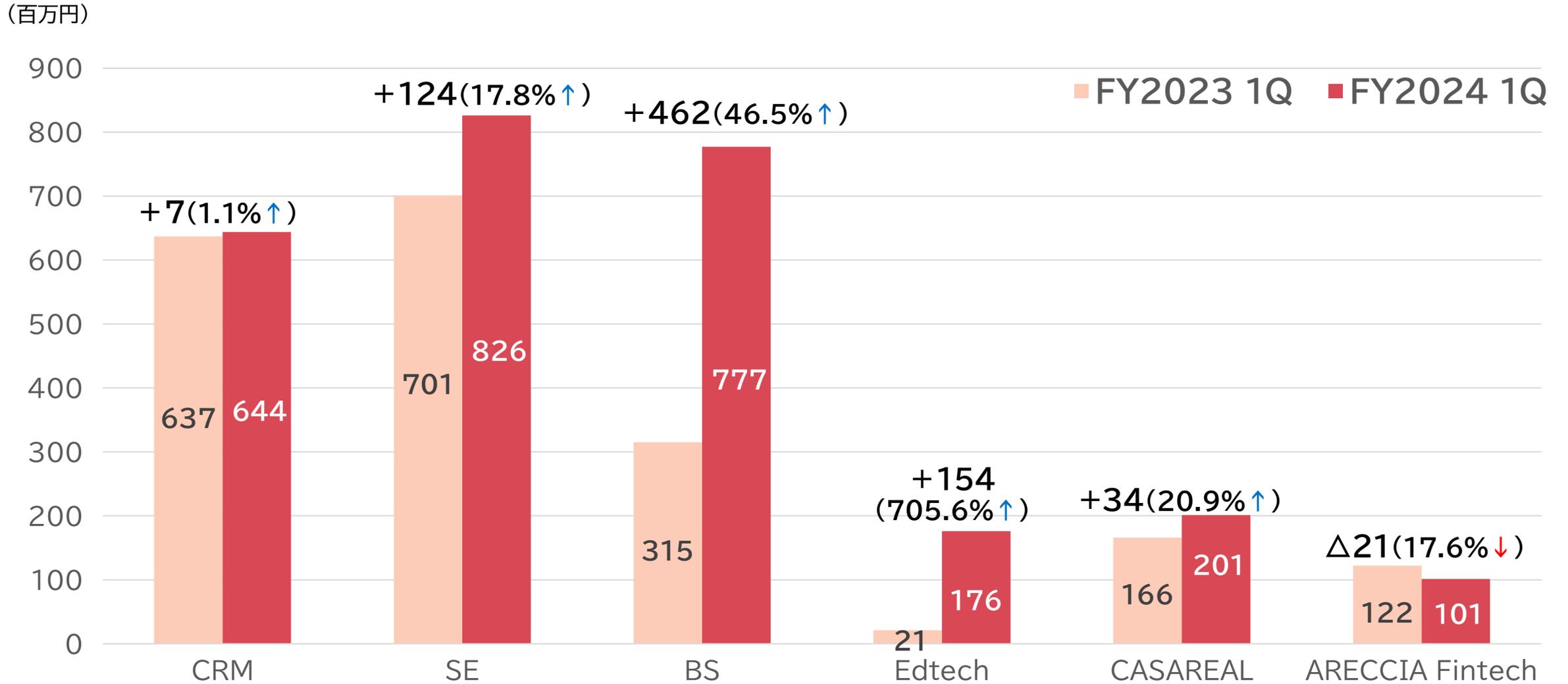
医療システム事業

(百万円)





2025年3月期 1Q アプリケーション・サービス事業 分野別 受注高



※事業略称

CRM:コンタクトセンター・コールセンター、SE:ソフトウェア品質保証

BS:ビジネスソリューション、EdTech:教育

※事業部間の連結調整前の数値

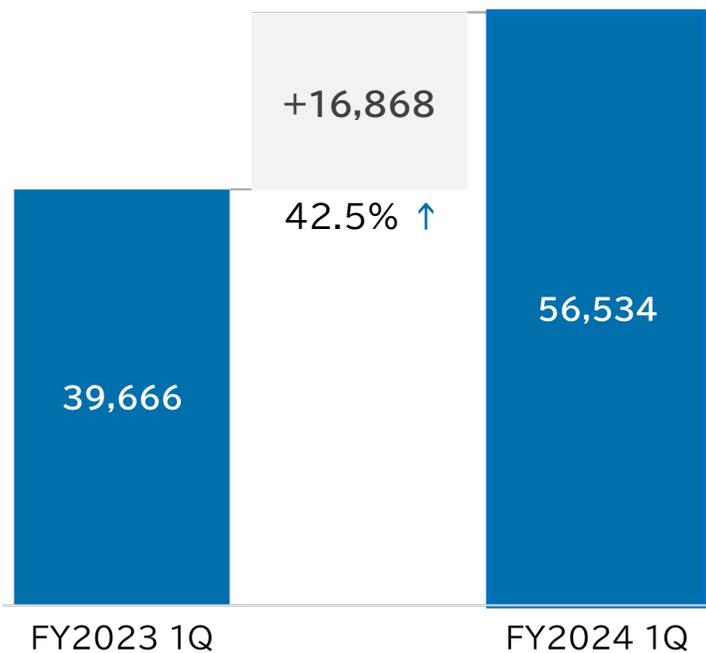


2025年3月期 1Q セグメント別 受注残高(連結)

- サブスクリプション化(ストックビジネス強化)により、増加傾向。

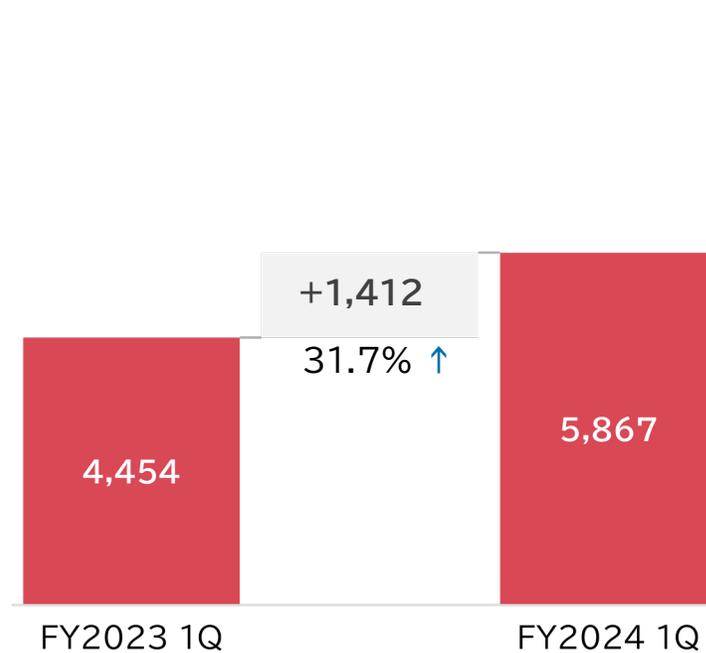
情報基盤事業

(百万円)



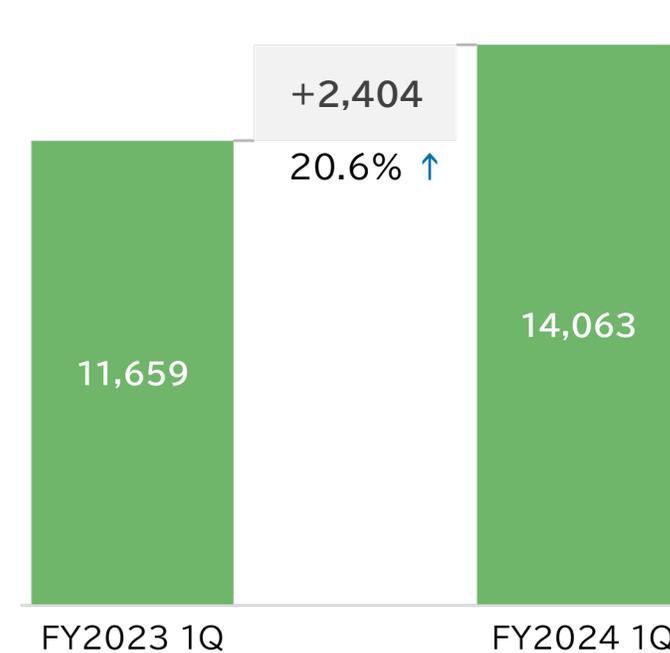
アプリケーション・サービス事業

(百万円)



医療システム事業

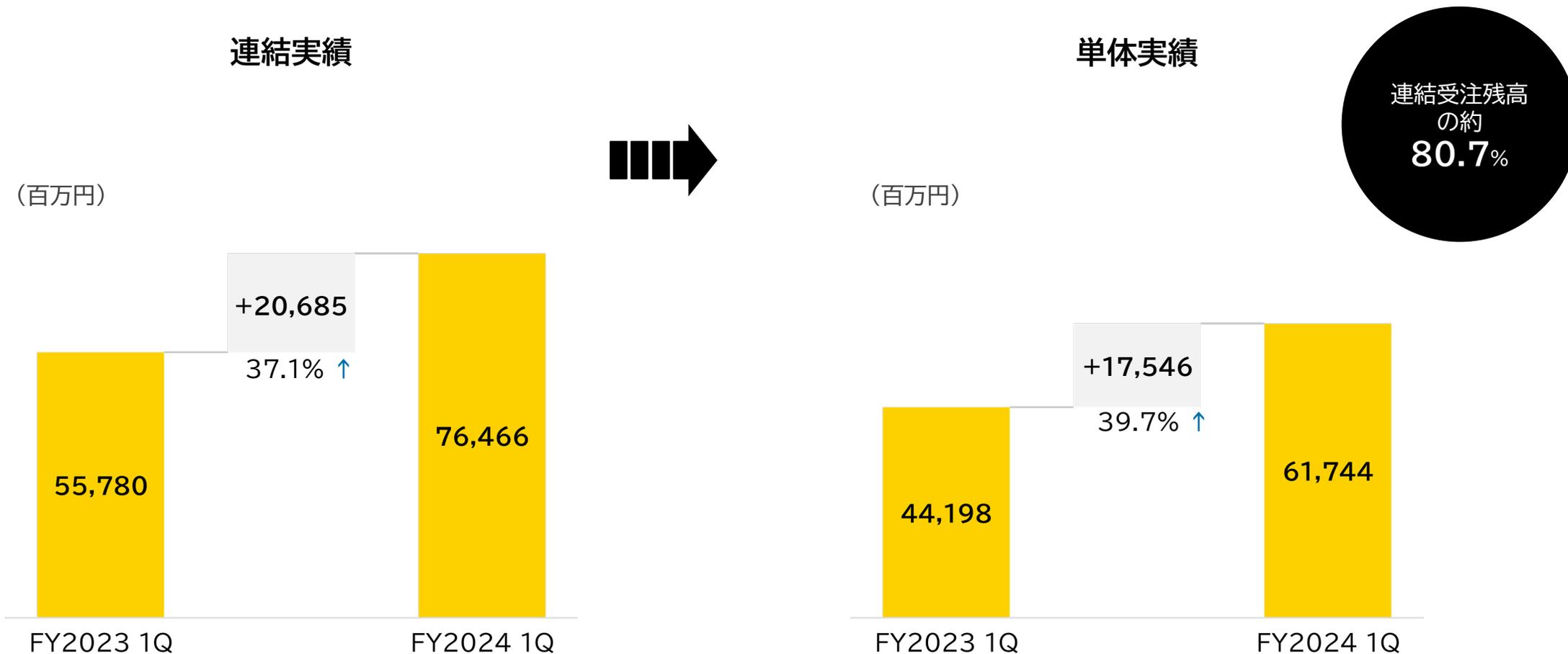
(百万円)





2025年3月期 1Q 受注残高の状況(単体)

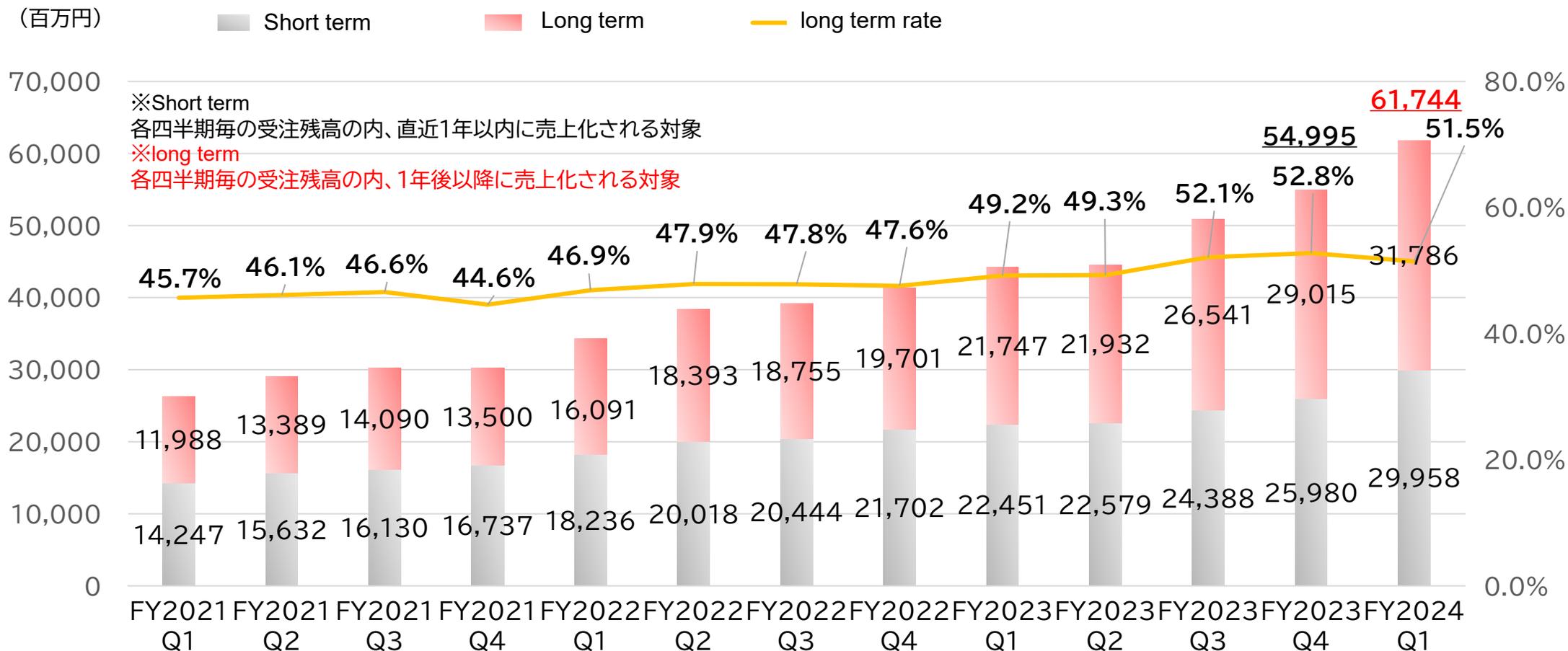
- テクマトリックス単体での受注残高の状況は以下のとおりです。





2025年3月期 第1四半期時点 受注残高(単体全体)

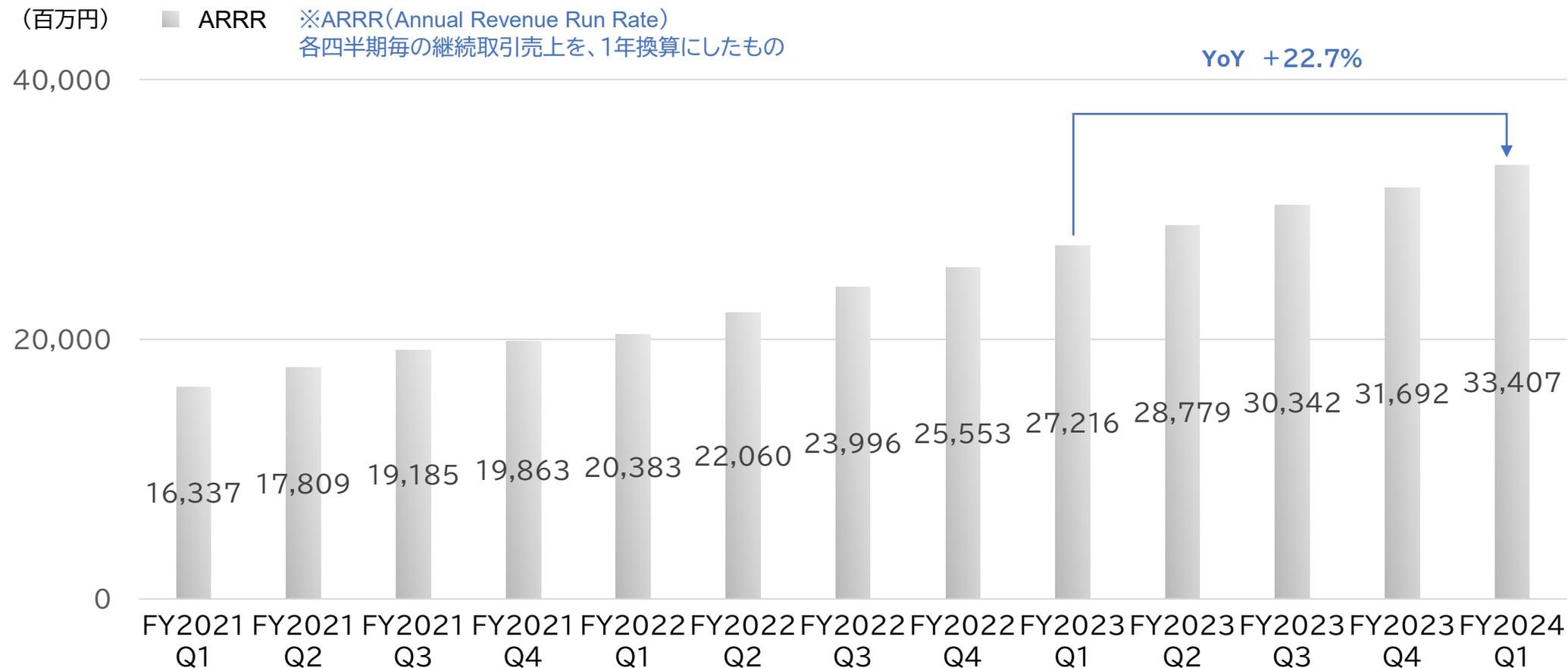
- テクマトリックス単体での受注残高の内訳は以下のとおりです。





2025年3月期 第1四半期時点 ARRR(単体全体)

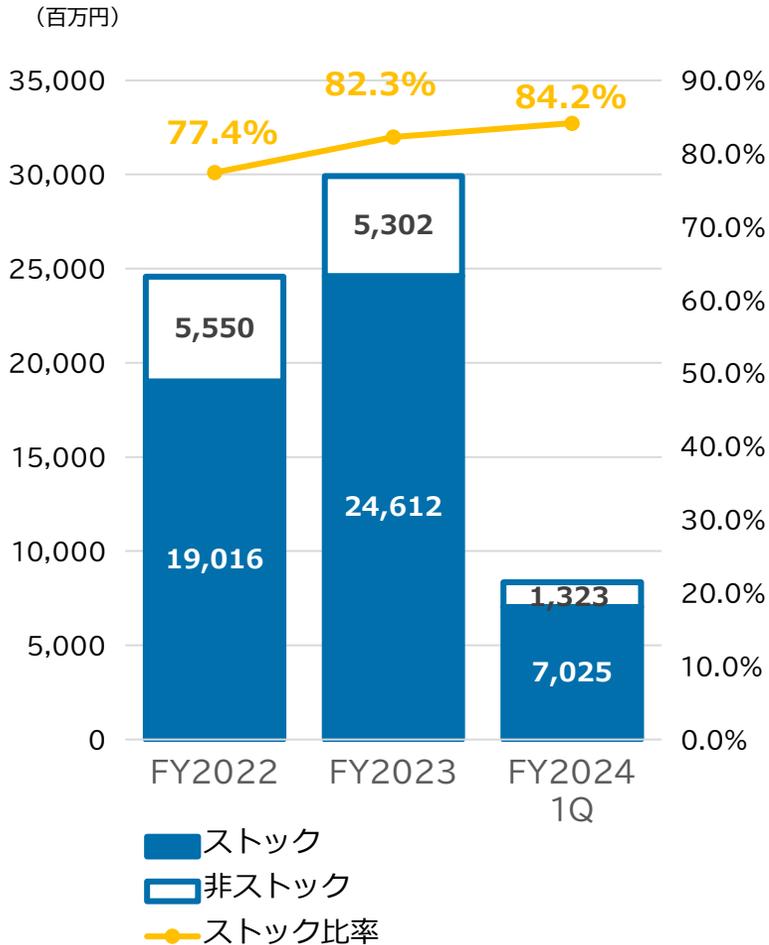
- テクマトリックス単体でのARRRの内訳は以下のとおりです。



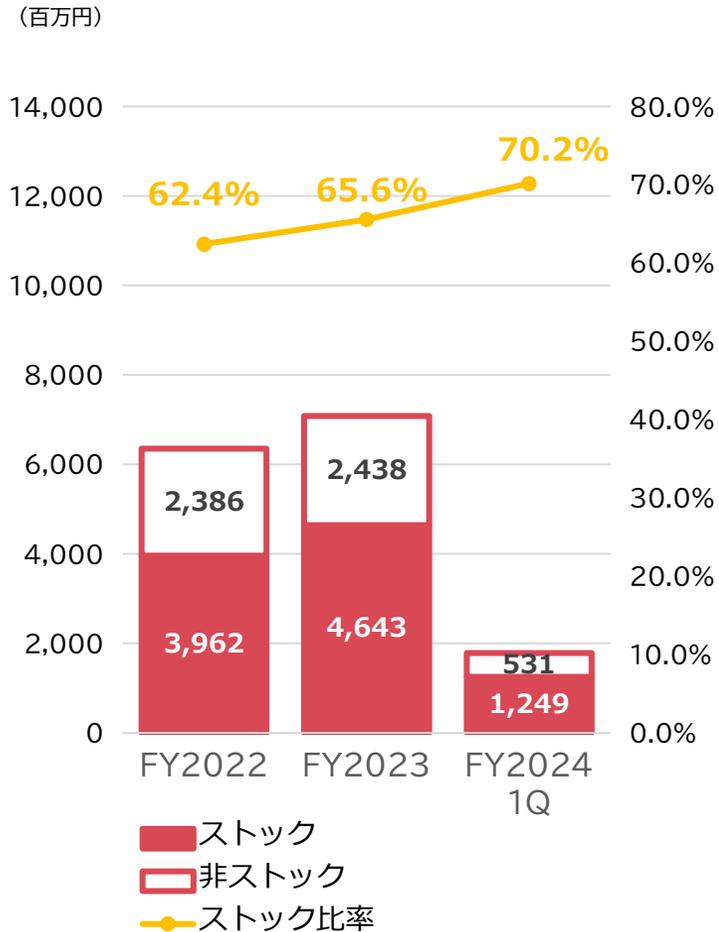


ストック比率の進捗状況(単体、PSP株式会社)

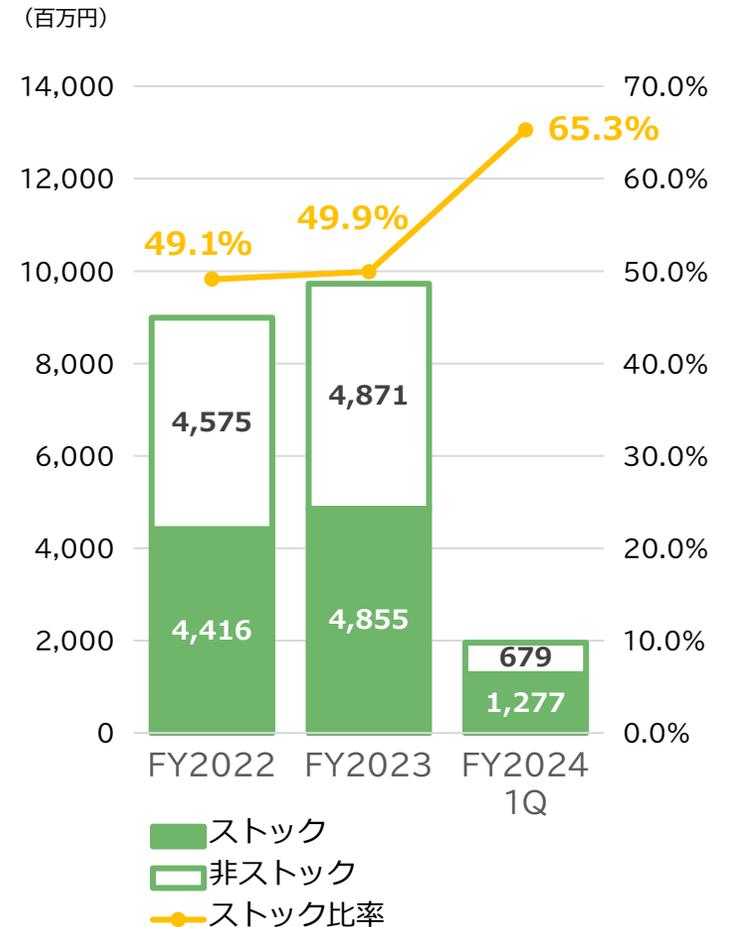
情報基盤事業



アプリケーション・サービス事業



医療システム事業



※ FY2024 1Qは金融事業を除く



2. 2025年3月期 連結業績予想

営業利益
100億円



Creating Customer Value in the New Era

(2024年～2027年)

売上:750億円 営業利益:82億円(計画)



BEYOND THE NEW NORMAL (2021

年～2024年)

売上:533億円 営業利益:58.5億円

- ・新生PSP株式会社を設立
(PSP株式会社の株式を取得し株式会社NOBORIと事業統合)
- ・エムスリー株式会社と合併会社エムスリーAI 株式会社を設立
- ・株式会社教育と探求社と資本・業務提携
- ・タイに現地法人TechMatrix Asiaを設立
- ・モビルス株式会社と業務資本提携

新中期経営計画
GO BEYOND 3.0

GO BEYOND 3.0

(2018年～2021年)

売上:309億円 営業利益:35.8億円

- ・統合型校務支援システム「ツムギノ」サービスを開始
- ・個人向け(患者向け)PHRサービスの提供を開始

- ・株式会社NOBORIを設立

Creating Customer Value in the New Era 3カ年計画値 (サマリ)

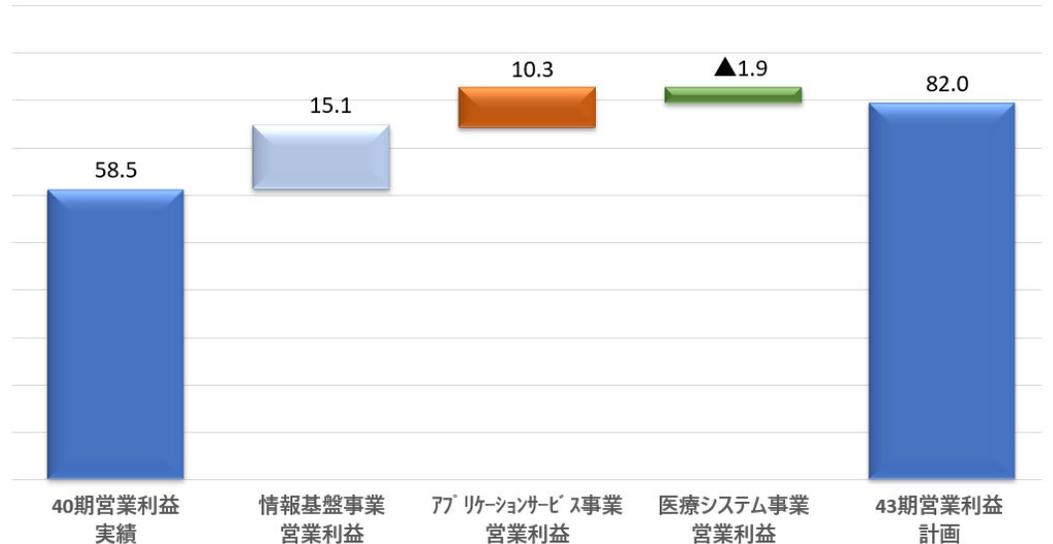
単位：億円

テクマトリックス連結 売上推移



単位：億円

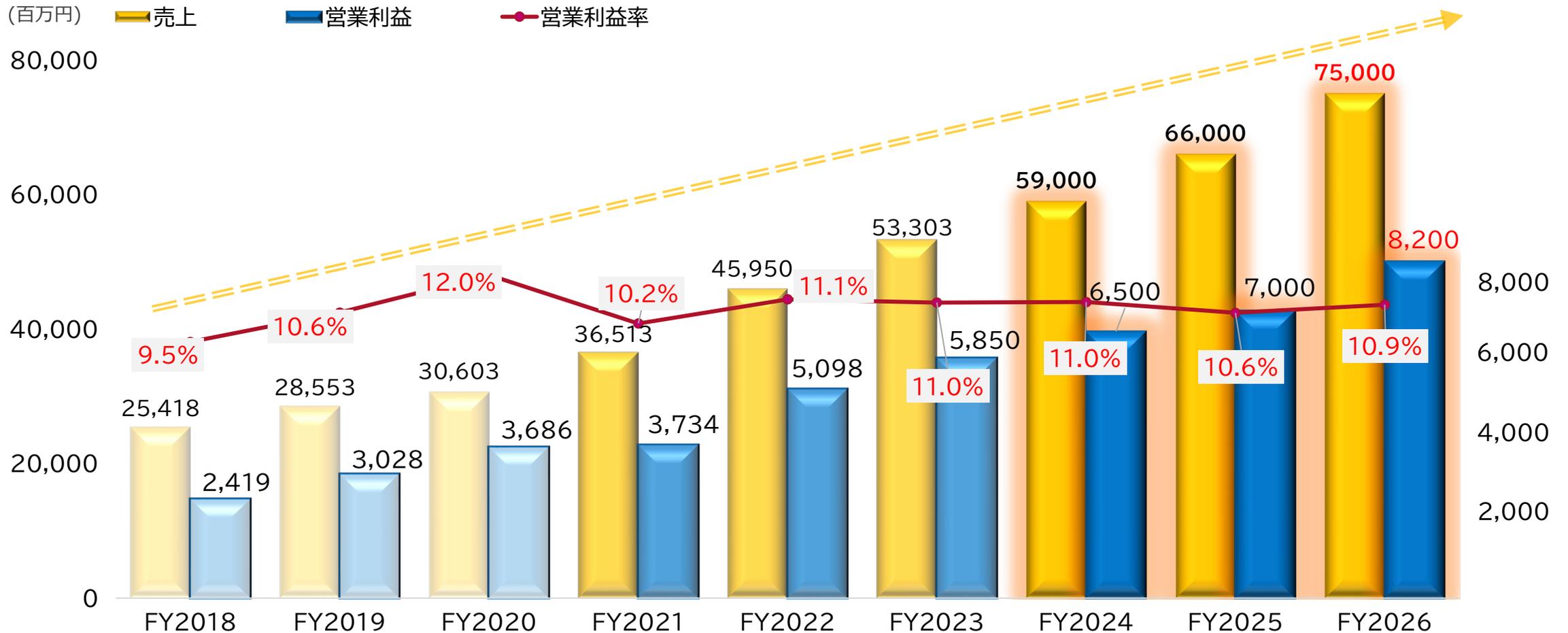
テクマトリックス連結 営業利益推移

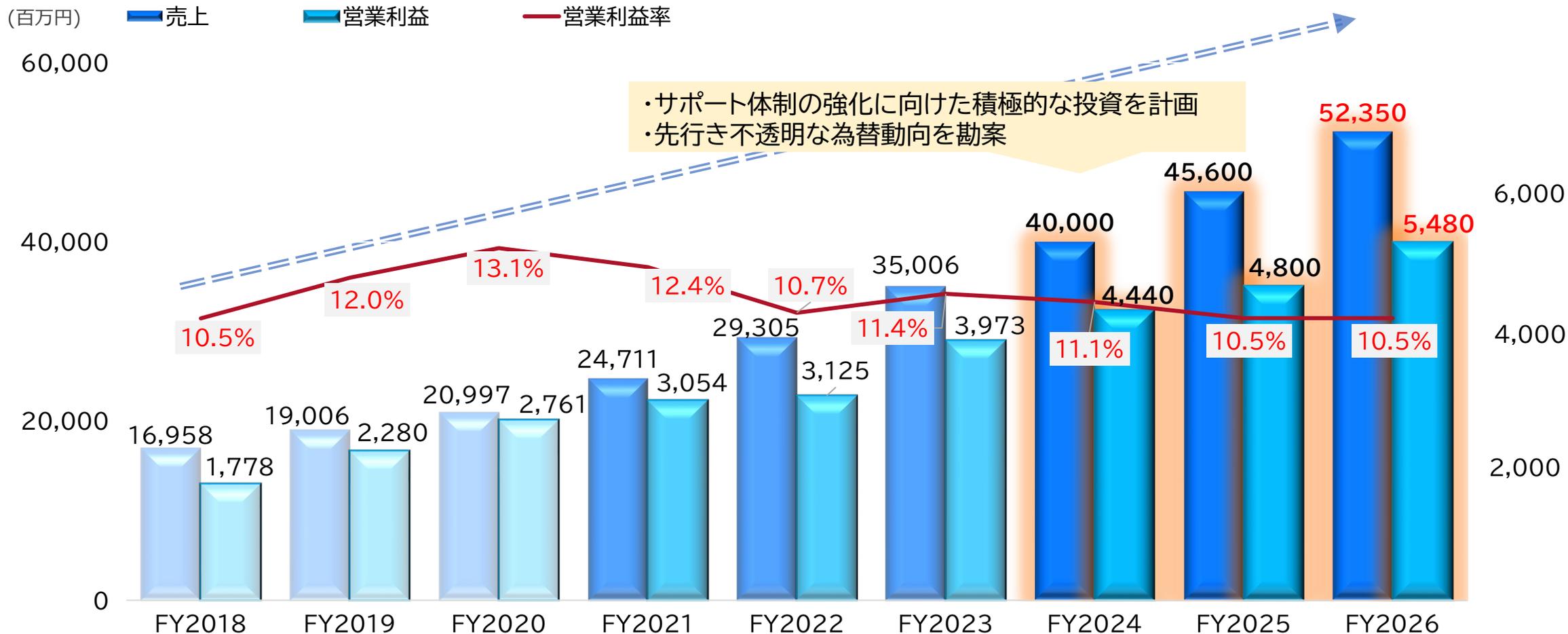


2024年3月期
実績

2027年3月期
計画

売上高	全体	2024年3月期実績	2027年3月期計画	
	全体	533.0億円	750.0億円	140.7%
情報基盤事業	350.0億円	523.5億円	149.6%	
アプリケーションサービス事業	82.0億円	115.5億円	140.9%	
医療システム事業	101.0億円	111.0億円	109.9%	
営業利益	全体	58.5億円	82.0億円	140.2%
	情報基盤事業	39.7億円	54.8億円	138.0%
	アプリケーションサービス事業	3.2億円	13.5億円	421.9%
	医療システム事業	15.6億円	13.7億円	87.8%





(百万円)

■ 売上 ■ 営業利益 ● 営業利益率

・サブスクリプション型ビジネスへの移行が進展
 ・EdTech事業の赤字が縮小

14,000

*39期より医療システム事業がアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。
 (PSP統合後)

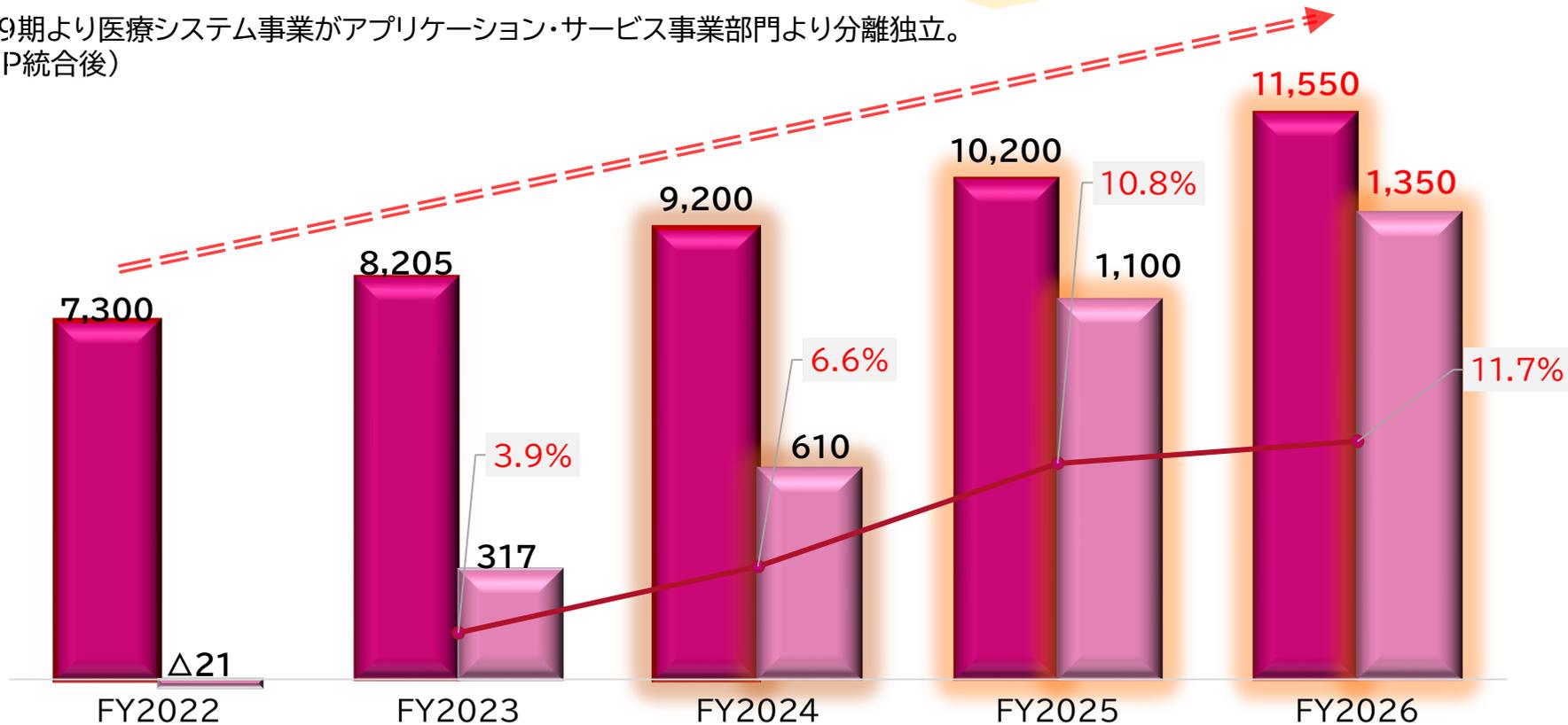
11,000

8,000

5,000

2,000

-1,000

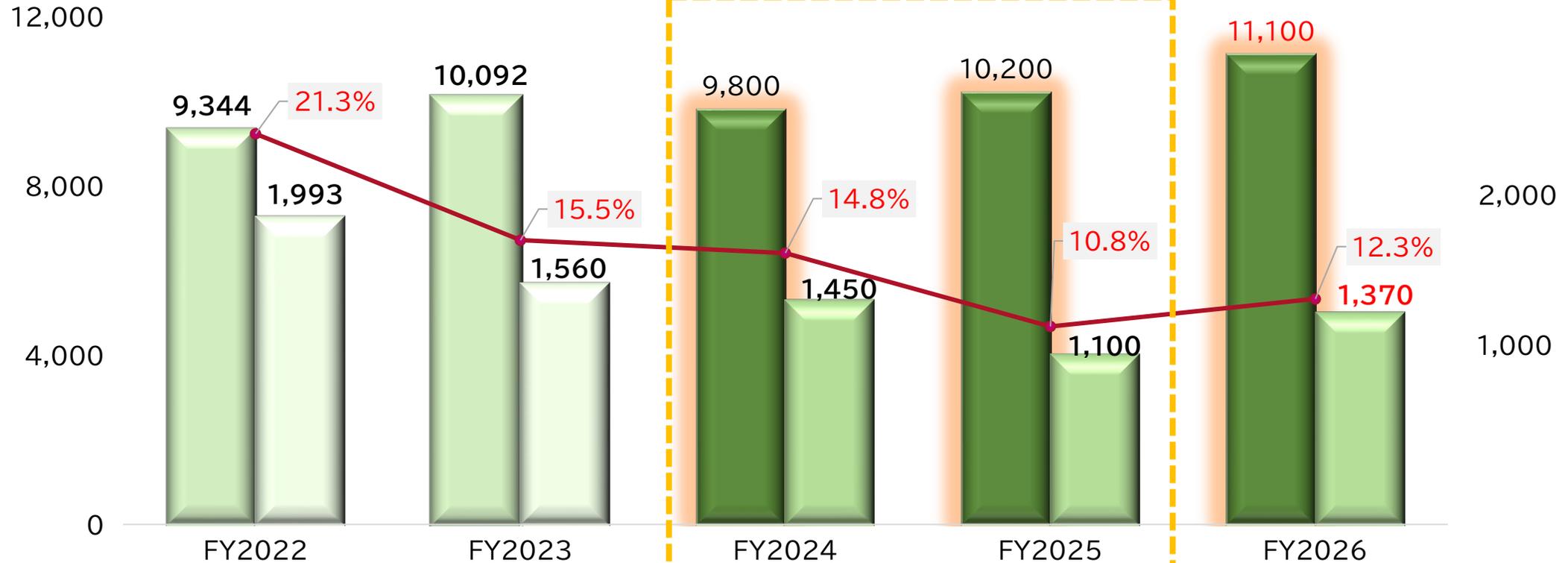


(百万円)

■ 売上 ■ 営業利益 ● 営業利益率

41期～42期は43期以降での増収増益のための投資フェーズ

*39期よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。(PSP統合後)



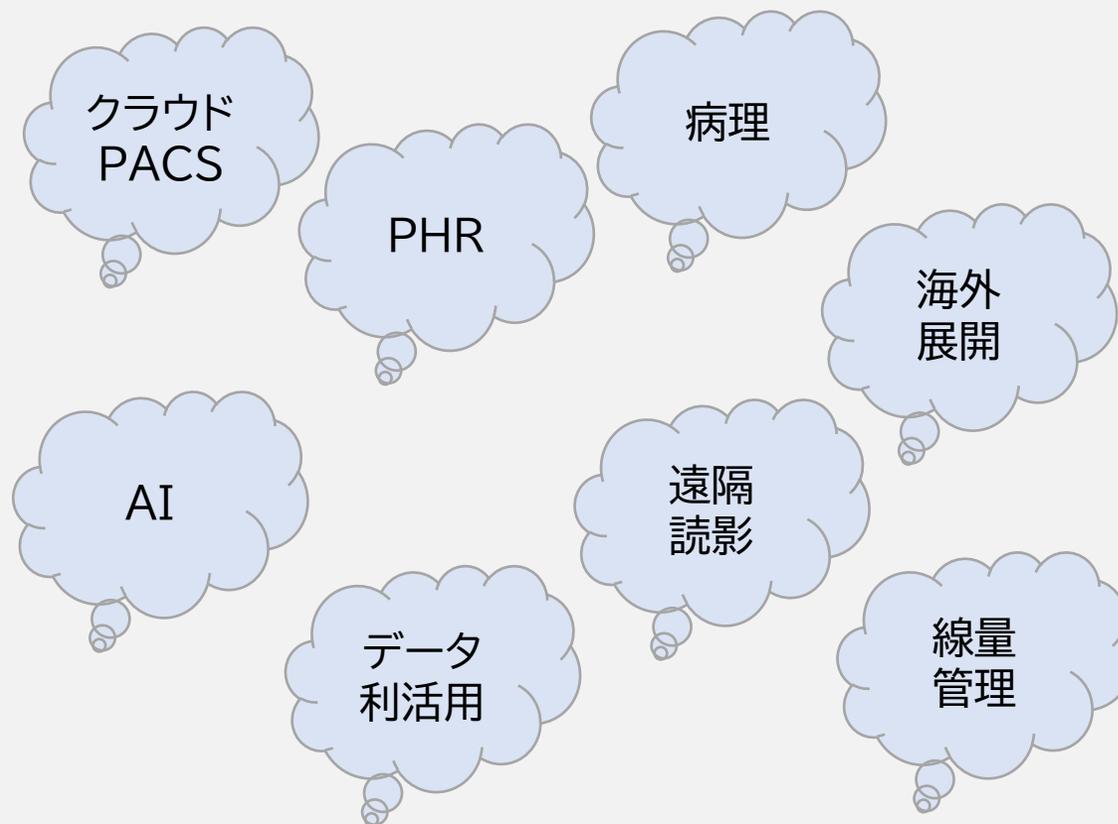
41期～42期は43期以降での増収増益のための投資フェーズ

1) PACS事業におけるクラウドシフト

短期的な売上・営業利益の減少を伴うが、
将来を見据えた経営判断として断行

2) 事業拡大に向けた人員の増員

3) 積極的な開発投資





<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや確実性がありますことを、予めご了承ください。

<お問合せ先>

テクマトリックス株式会社 経営企画課 TEL:03-4405-7802 ir@techmatrix.co.jp